

**2026 年 07 月（第 8 版）

*2026 年 02 月（第 7 版）

機械器具 01 手術台及び治療台
一般医療機器 汎用電動式手術台 JMDN コード：36867020

特定保守管理医療機器

電動式手術台 AXIS500

*【警告】

<使用方法>

- 患者を乗せた後、体位を取るために本品の各部位を屈曲させる、又は付属品にて支持する場合は、必ず患者の状態を監視しながら行うこと。[落下、怪我等の事故防止のため]
- 患者を長時間にわたって同一の体位に保つことは、神経麻痺等の原因となる場合があることに留意すること。

*【禁忌・禁止】

<使用方法>

1. 手術台の設置及び移動

手術台移動及び設置する際は、下記の事項を守ること。
[破損、横転防止のため]

- 位置を高くするために手術台の下に当て物をいれないこと。
- 凹凸のある床面に設置しないこと。
- 5 度以上傾いた場所には設置しないこと。
- 患者を乗せた状態でフロアロックを解除しないこと。

2. 手術台の取扱い

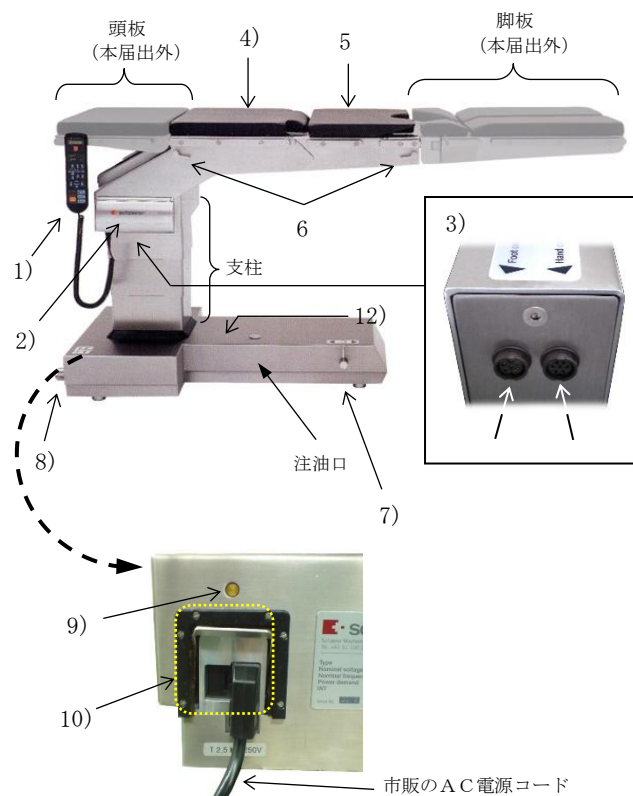
- 【形状・構造及び原理等】に示す耐荷重を超えた使用をしないこと。[作動不良、破損防止のため]
- 頭板、脚板等のアクセサリ（本届出外）を接続した後、アクセサリ部分だけに乗ったり座ったりしないこと。
[破損防止、横転防止のため]
- 操作中は、各部位の隙間に手や指を入れないこと。
[怪我防止のため]
- 患者が乗っている状態で水平復帰ボタンを操作しないこと。
[落下、怪我等の事故防止のため]

3. コード類の取扱い

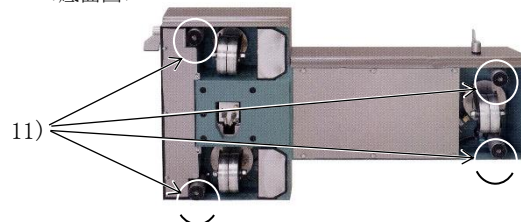
- コード類の上に重量物を乗せたり、他の機器のキャスター等で乗り越えたりしないこと。[断線による火災又は感電防止のため]

2. 形状

① 本体



<底面図>

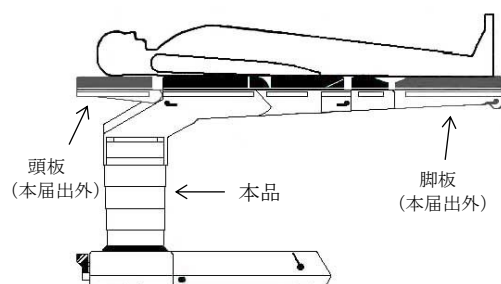


**【形状・構造及び原理等】

1. 構成

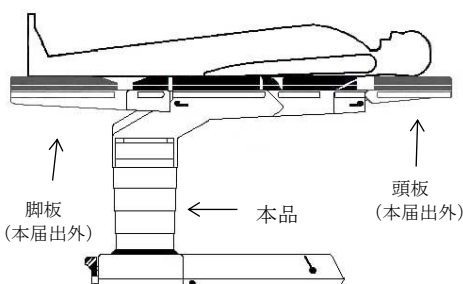
① ポジション A

※ 患者の頭部が本体の支柱側になるポジション。



② ポジション B

※ 患者の足が本体の支柱側になるポジション。



番号	名称
1)	ハンドコントロール
2)	緊急操作パネル（カバー下）
3)	コネクター
4)	背板（パッド付 / ポジション B 時は腰板）
5)	腰板（パッド付 / ポジション B 時は背板）
6)	プレート固定レバー
7)	ステアリング・レバー
8)	フロアロック・レバー
9)	パイロットランプ
10)	AC電源コード接続部
11)	フロアロック・シリンダー
12)	HFアースコード接続部（側面）

②付属品

- a. AXIS用
ハンドコントロール
- b. HFアースコード (3000 mm)



※ハンドコントロールと
カールコードは分離しない。



③選択付属品

- a. AXIS用
フットコントロール
- b. HFアースコード (5000 mm)



※フットコントロールと
カールコードは分離しない。



3. 作動原理

本体内部の二次電池から電気を供給し、ハンドコントロールを操作してポンプモーターを作動させ、目的部のシリンダーにオイルを送ることにより、本体の高さ、各部位の角度が調整される。

4. 機能

①可動範囲

テーブルの昇降範囲 (パッドを除く)	最低位置：740mm 最高位置：1150mm
トレンデレンブルグ位の傾斜角度	30°
左右傾斜角度	20°
腰板(ポジション B 時は背板)の傾斜角度(水平面より)	上方 76° 下方 40°

②耐荷重

※本届出外

ポジション A 時 (患者の頭が支柱側)	350kg
ポジション B 時 (患者の足が支柱側)	220kg
サイドレール	55kg
脚板※ (水平方向へ 45° 以上傾いた場合)	40kg (20kg)
頭板※	40kg

5. 寸法及び重量等

テーブル面 ※頭板、脚板(共に本届出外)を接続した場合	860 (1997※) mm×520mm
ベース(土台)部 ※最大幅	1170mm×600mm
頭板と脚板を除いた重量	284 kg
テーブルトップの幅	520 mm

6. 原材料

主たる原材料：ステンレス鋼、ポリエステル・フォーム、強化プラスチック、アルミニウム合金

7. 電氣的定格等

機器の分類	電撃に対する保護の形式：クラス I 機器 電撃に対する保護の程度：B 型装着部
電氣的定格	内蔵バッテリー電圧：DC24V、20Ah 内蔵バッテリー種類：鉛蓄電池 充電時電源電圧：AC100-120V 充電時電源入力：250VA 電源周波数：50 / 60 Hz
EMC 規格	本品は EMC 規格 IEC 60601-1-2 に適合

【使用目的又は効果】

本品は、手術が必要な部位の大部分に適応するように改良された完全移動型手術台(汎用)であり、電池電源式である。手術時に患者の身体を支持、固定するために使用する。

*【使用方法等】

<手術台の ON/OFF>

- 手術台の電源を入れる
ハンドコントロールのいずれかのボタンを押すと手術台の電源が入る。
- 手術台の電源を切る
手術台は、約 10 秒間使用しないと完全に電源が切れる。
- 緊急時のカットオフ
危険な状況が発生した場合は、次の手順に従い、手術台の動作を停止する必要がある。
手術台が事故に巻き込まれた場合、緊急操作パネルの DISABLE ボタンまたはハンドコントロールの STOP ボタンを押すことで、手術台とコントローラーの電源が遮断される。

<フロアロック>

本手術台はフロアロックされていないとキャスターが動き、患者が転落する可能性がある。従って、転落により患者が障害を負う危険性を避けるため、以下の点を遵守すること。

- 各検査の前に手術台をフロアロックすること。
- 各手術前に手術台をフロアロックすること。
- 手術台がフロアロックされた状態でのみ、患者を別のベッドに移動させること。

尚、フロアロック操作中は土台部分から足を離すこと。[可動部であるフロアロック・シリンダーが下がり、医療従事者が傷害を負う危険性があるため]

1. 手術台のロック

フロアロック・レバーを下の位置に動かす。ロックシリンダーが移動する。手術台がキャスターの上に立たなくなり、手術台がロックされた状態になる。作業中、ハンドコントロールに以下のメッセージが表示される：Locking Floor

2. 手術台のロック解除

フロアロック・レバーを上位置に動かす。ロックシリンダーが引き込まれ、手術台がキャスターの上に立ち、手術台が移動できるようになる。その間、ハンドコントロールに以下のメッセージが表示される：On Wheels

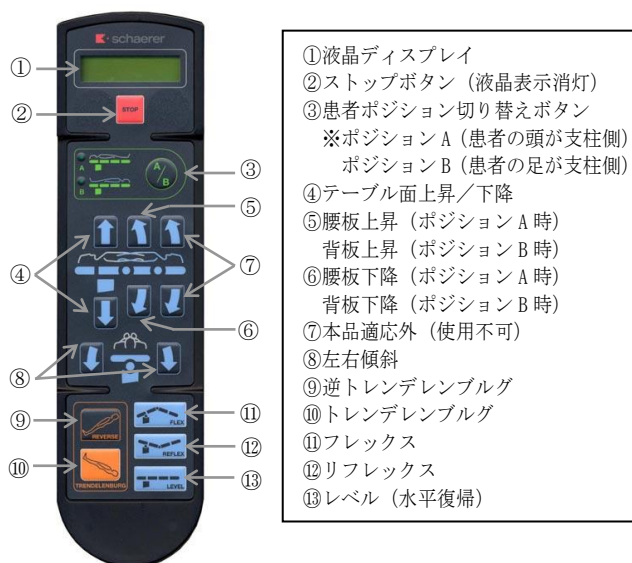
<コントロールユニット>

本手術台は以下の三つのコントロールユニットによる操作が可能であり、複数が同時に使用された場合における制御の優先順位は以下の様に設定されている。

優先順位	コントロールユニット
1	緊急操作パネル
2	ハンドコントロール
3	フットコントロール

1. ハンドコントロール

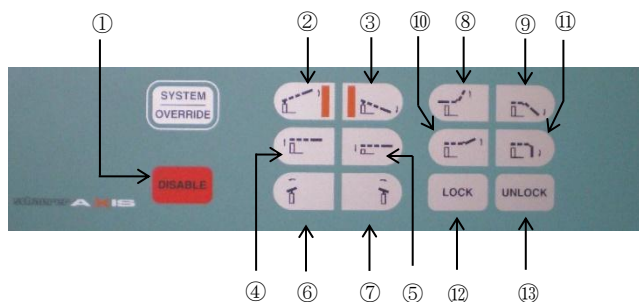
フロアロックをしないとハンドコントロールは操作出来ない。
(トレンデレンブルグを除く)
電源スイッチはなく、作動させたい部位のボタンを押すと起動する。



2. 緊急操作パネル

- ①ハンドコントロールが故障した場合は、手術台の側面に有る緊急操作パネルのボタンで、手術台を作動させることが可能。
- ②カバーを開け、緊急操作パネルの“SYSTEM OVERRIDE”ボタンを押しながら、動かしたい部位のボタンを押すことにより、作動させる。

緊急操作パネルの配置

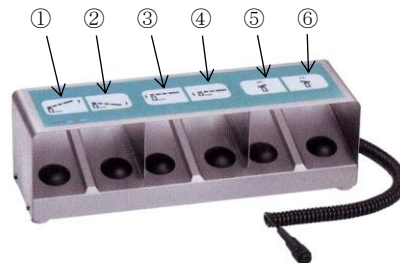


番号	ポジションA時	ポジションB時
①	強制停止ボタン	強制停止ボタン
②	トレンデレンブルグ	逆トレンデレンブルグ
③	逆トレンデレンブルグ	トレンデレンブルグ
④	テーブル面上昇	テーブル面上昇
⑤	テーブル面の下降	テーブル面の下降
⑥	左に傾斜させる	右に傾斜させる
⑦	右に傾斜させる	左に傾斜させる
⑧	本品適応外 (使用不可)	本品適応外 (使用不可)
⑨	本品適応外 (使用不可)	本品適応外 (使用不可)
⑩	本品適応外 (使用不可)	本品適応外 (使用不可)
⑪	本品適応外 (使用不可)	本品適応外 (使用不可)
⑫	フロアロック固定	フロアロック固定
⑬	フロアロック解除	フロアロック解除

3. フットコントロール

フロアロックをしないとフットコントロールは操作出来ない。
(トレンデレンブルグを除く)

フットコントロールの配置

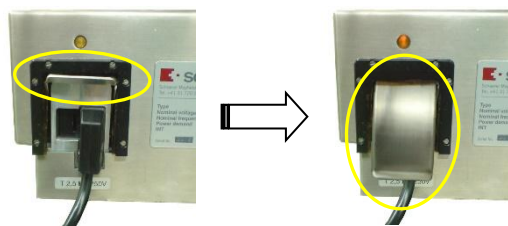


番号	ポジションA時	ポジションB時
①	トレンデレンブルグ	逆トレンデレンブルグ
②	逆トレンデレンブルグ	トレンデレンブルグ
③	テーブル面上昇	テーブル面上昇
④	テーブル面の下降	テーブル面の下降
⑤	左に傾斜	右に傾斜
⑥	右に傾斜	左に傾斜

※ ハンドコントロールとフットコントロールを同時に操作した場合、ハンドコントロールの指示が優先される。

4. バッテリーの充電

- ①市販のAC電源コードを本体の電源コード接続部と、コンセントに差し込む。
- ②本体の電源コード差し込み部のカバーを下げると、パイロットランプが点灯し、充電が始まる。
※カバーを下げないと充電されないの注意すること。



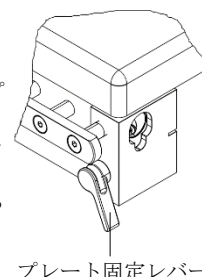
- ③所定の時間 (目安8時間) 充電したら、電源コードを取り外す。
※フル充電されてもパイロットランプは消えない。

<バッテリー使用上の注意>

- ①業務終了毎にフル充電すること。完全に放電されたバッテリーは、約4時間後に80%、約8~12時間後には100%の充電状態に達する。尚、電圧が弱いと充電時間が大幅に延びる可能性がある。
- ②完全に放電された状態 (充電容量がゼロの状態) で、4週間以上放置しないこと。放置した場合は充電不能となる。(使用しなくても自然放電するため、必ず4週間を超えない間隔で充電すること。)
- ③バッテリーの劣化が早まるため、充電状態のまま手術台を操作しないこと。
- ④バッテリーの容量がゼロになり手術台が動かなくなった場合は、電源コードをつないだ状態で一時的に対応することも可能だが、必要最小限にとどめること。[バッテリーの劣化が著しく早まるため]
- ⑤バッテリー充電の際に接続可能な市販のAC電源コードの規格：電圧125V、電流15A、接続部3P。尚、全長3000mm未満の長さを推奨する。

<アクセサリーの着脱>

- ・取り付け
 - ①閉じた状態で、プレート固定レバーを90°下方に回す。
 - ②プレート固定レバーを引き抜き、ストップまで回す。
 - ③アクセサリーのアライメントピンをロックするまで押し込む。
 - ④プレート固定レバーをアクセサリーから離れる方向 (上方から後方) に回転させ、クランプする。
- ・取り外し
 - ①プレート固定レバーを下方に回す。
 - ②プレート固定レバーを引き出し、停止位置まで回し続ける。
 - ③アクセサリーを取り外す。



＜組み合わせて使用する医療機器＞

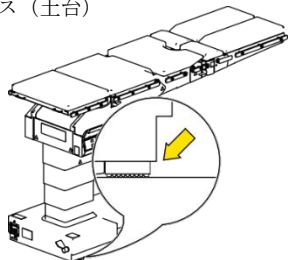
本品と併用可能である手術台アクセサリは以下のとおり。

届出番号	販売名
13B1X00167000145	シーラー・手術台アクセサリ
13B1X00167000146	シーラー・手術台アクセサリ（A X I S 用）
13B1X00167000167	シーラー・ベースアダプター
13B1X00167000180	シーラー・O T Z 下肢牽引器
13B1X00167000329	シーラー・M T S 下肢牽引器
13B1X00167000330	シーラー・カーボンスパインフレーム

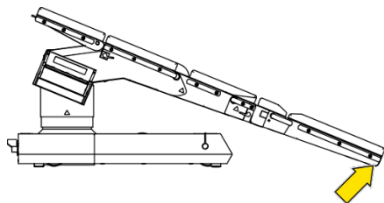
**【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

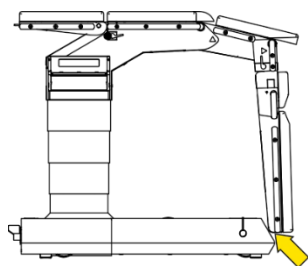
1. 頭板や脚板（共に本届出外）が確実に接続されていること、プレート固定レバーが固定位置にあることを確認すること。[頭板、脚板が動く又は外れる可能性があるため]
2. アクセサリが突出していると、手術台が傾くなどして、患者やスタッフ作業者が負傷する危険性がある。
3. 爆発の危険がある区域では、以下を遵守すること。[爆発の危険性が高くなり、患者および医療従事者が傷害を受けるおそれがある]
 - ・手術台を操作しないこと。
 - ・バッテリーを充電しないこと。
 - ・手術台を主電源に接続しないこと。
4. 装置の使用中は、絶対にフロアロックを解除しないこと。
5. サイドレールに不適切なアクセサリ（特に手術台の長さを変えるアクセサリ）を取り付けた場合、転倒の危険がある。又、サイドレール上の付属品の重量は、耐荷重を超えないようにし、重量はテーブルの左右に分散させること。[患者が怪我をする可能性がある]
6. 本品を使用の際は、以下を参考に、挟み込みに注意すること
 - a. 床ベース（土台）



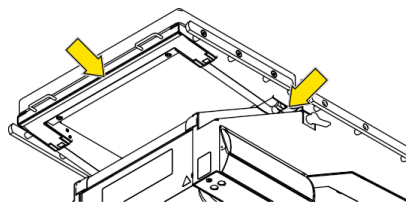
b. 床一脚板



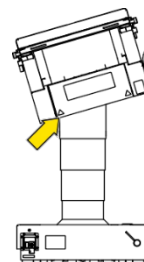
c. ベース（土台）一脚板



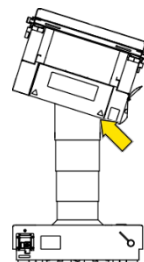
d. 頭板—テーブル面



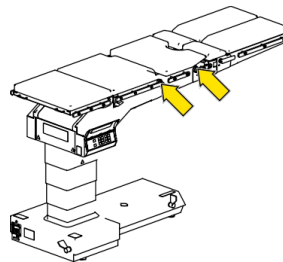
e. 支柱—テーブル面 I



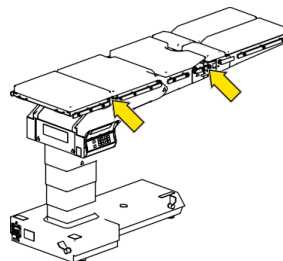
f. 支柱—テーブル面 II



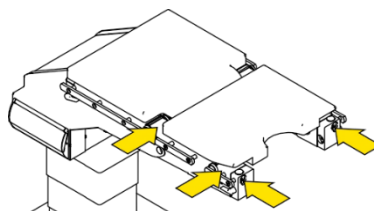
g. テーブル面



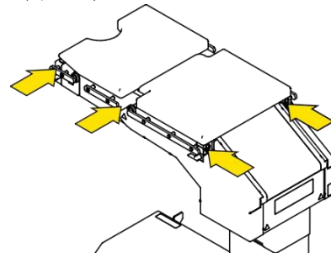
h. テーブル面—ロックシステム I



i. テーブル面—ロックシステム II



j. テーブル面—ロックシステム III



7. 手術台にエラーが生じた際、ハンドコントロールに以下のエラーコードが表示されることに留意すること。

エラーCODE	概要
E01	フロアロック・ステータス・スイッチが反応しない。ステータススイッチが誤動作している、ワイヤーの接続が緩んでいる、またはフロアロック・シリンダーが適切に伸びていない。
E02	過電流－モーター#1。モーター#1 が故障している。
E03	過電流－モーター#2。モーター#2 が故障している。
E04	モータードライバの故障。充電／パワードライバボードが故障しているか、ワイヤーの接続が緩んでいる。
E05	バルブドライバの故障。バルブスプールソレノイドの誤動作、ワイヤー接続の緩み、またはメインコントローラボードの誤動作。
E06	フットスイッチの故障。フットコントロールの各機能ボタンの下には2つのフットスイッチがあります。このエラーコードは、2つのスイッチのうち1つだけが押されていると検出されたことを示している。
E07	トレンデレンブルグポジションセンサーの故障。トレンデレンブルグ機能のポジションセンサーが故障しているか、ワイヤーの接続が緩んでいる。
E08	チルトポジションセンサーの故障。チルト機能のポジションセンサーが故障しているか、ワイヤーの接続が緩んでいる。
E09	シートポジションセンサーの故障。シート機能のポジションセンサーが故障しているか、ワイヤーの接続が緩んでいる。
E11	内部 RAM／レジスタの故障。メインコントローラボードの故障。
E12	データ校正の失敗。位置センサーからのデータがメインコントローラボードのデータと一致しない。テーブルの再校正が必要。
E13	過熱－モーター#1。モーターが冷えるまで90～120分間待つ。(モーター79/109 は断続的に使用するように設計されている。)
E14	オーバーヒート－モーター#2。モーターが冷えるまで90～120分間待つ。(モーターは断続的に使用するように設計されている。)
E15	ハンドコントロールボタンスwitchの故障。
S LAYER ACTIVE	セーフティレイヤーがアクティブ。

8. 電磁両立性に関する注意事項

・エミッション

ガイドンスおよび製造業者による宣言-電磁エミッション		
本手術台は、以下に規定する電磁環境で使用することを意図している。本手術台を使用する顧客または使用者は、このような環境で使用されていることを保証しなければならない。		
エミッション試験	適合性	電磁環境ガイドンス
RF エミッション CISPR11	グループ 1	本手術台は、内部機能のためにのみ高周波エネルギー／高周波放射を使用する。 したがって高周波放射は非常に低く、近くの電子機器に干渉を引き起こす可能性はほとんどない。 本手術台は、医療従事者が使用するものである。 手術室での使用に限定される。
RF エミッション CISPR11	クラス A	
高調波エミッション IEC61000-3-2	クラス A	
電圧変動／フリッカ エミッション IEC61000-3-3	適合	

・イミュニティ(すべてのデバイス)

ガイドンスおよび製造業者による宣言-電磁イミュニティ			
本手術台は、以下に規定する電磁環境で使用することを意図している。本手術台を使用する顧客または使用者は、このような環境で使用されていることを保証しなければならない。			
イミュニティ試験	IEC60601試験レベル	適合性レベル	電磁環境ガイドンス
静電気放電 (ESD) IEC61000-4-2	± 8kV 接触 ±15kV 気中	± 8kV 接触 ±15kV 気中	床は、木材、コンクリート、またはセラミックタイルであることが望ましい。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は少なくとも 30% であること。
電氣的ファストトランジェント／バースト IEC61000-4-4	±2kV 電源ライン ±1kV 入出力ライン	±2kV 電源ライン	電源電圧の品質は、標準的な商用または病院環境であること。
サージ IEC61000-4-5	±1kV ディファレンシャルモード電圧 ±2kV コモンモード電圧	±1kV ディファレンシャルモード電圧 ±2kV コモンモード電圧	電源電圧の品質は、標準的な商用または病院環境であること。
電圧の降下、短時間停電および電源電圧の変動 IEC61000-4-11	5%UT (0.5 サイクル) 40%UT (100 秒) 70%UT (500 秒) <5%UT (5000 秒)	5%UT (0.5 サイクル) 40%UT (100 秒) 70%UT (500 秒) <5%UT (5000 秒)	電源電圧の品質は、標準的な商用または病院環境であること。本手術台の顧客または使用者が主電源の遮断時にも操作を継続する必要がある場合、本手術台に無停電電源装置またはバッテリーから電源を供給すること。

・イミュニティ(生命維持装置ではない)

ガイドンスおよび製造業者による宣言-電磁イミュニティ				
本手術台は、以下に規定する電磁環境で使用することを意図している。本手術台を使用する顧客または使用者は、このような環境で使用されていることを保証しなければならない。				
電磁環境-ガイドンス				
携帯型および移動型 RF 通信機器は、送信機の周波数に適用可能な式に基づいて計算された推奨安全距離よりも、コードを含めて本手術台のどの部分にも近くないように使用すること。				
イミュニティ試験	IEC60601試験レベル	適合性レベル	電磁環境ガイドンス	
伝導性 RF IEC61000-4-6	3Vms 150kHz～80MHz	V1=10Vms 150kHz～80MHz	d=0.35	150kHz～80MHz
放射 RF IEC61000-4-3	3V/m 80MHz～1000MHz	E1=10V/m 80MHz～1000MHz	d=0.35	80MHz～1000MHz
放射 RF IEC61000-4-3	3V/m 1000MHz～2.5GHz	E1=10V/m 1000MHz～2.7GHz	d=0.7√P	1000MHz～2.7GHz
ここで、P は送信機の製造元による送信機の最大出力電力定格 (ワット (W) 単位)、d は推奨分離距離 (メートル (m) 単位) である。 電磁現場調査により決定される固定 RF 送信機からの磁場強度 (a) は、各周波数範囲の適合性レベル (b) よりも小さくなければならない。 次の記号が表示されている機器の近くでは、干渉が発生する可能性がある。 				
注 1：80MHz および 800MHz では、より高い周波数範囲が適用される。 注 2：これらのガイドラインは、すべての状況に適用されるわけではない。 電磁波の伝搬は、構造物、物体、人からの吸収や反射の影響を受ける。 a) 無線電話(セルラー/コードレス)や移動式地上無線、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送、テレビ放送などの固定送信機からの電界強度は、理論的に正確には予測できない。固定高周波トランスミッタによる電磁環境を評価するために、電磁サイト調査を考慮すべきである。本手術台が使用される場所で測定された電界強度が上記の該当する高周波コンプライアンスレベルを超える場合は、本手術台を観察して正常な動作を確認する必要がある。異常な動作が確認された場合、本手術台の向きを変えるか、或いは、設置場所を変更するなどの追加措置が必要となる可能性がある。 b) 周波数範囲 150kHz～80MHz において、電界強度は 10V/m 以下でなければならない。				

・イミュニティ(すべてのデバイス)

ポータブル及びモバイル高周波通信機器と本手術台との推奨分離距離			
本手術台は、高周波の放射妨害が制御される電磁環境での使用を意図している。 本手術台を使用する顧客または使用者は、通信機器の最大出力電力に応じ、以下の推奨距離を、ポータブル及びモバイル高周波通信機器(送信機)と本手術台との間に維持することで、電磁干渉を防止することができます。			
電磁環境-ガイダンス			
携帯型および移動型 RF 通信機器は、送信機の周波数に適用可能な式に基づいて計算された推奨安全距離よりも、コードを含めて本手術台のどの部分にも近くないように使用すること。			
送信機定格最大出力電力[W]	送信機の周波数による分離距離[m]		
	150kHz～80MHz $d=0.35\sqrt{P}$	80MHz～1000MHz $d=0.35\sqrt{P}$	1000MHz～2500MHz $d=0.7\sqrt{P}$
0.01	3.5cm	3.5cm	7cm
0.1	11cm	11cm	23cm
1	35cm	35cm	70cm
10	1.1m	1.1m	2.3m
100	3.5m	3.5m	7m
上に記載されていない最大出力電力で定格されているトランスミッタの場合、推奨分離距離 d (m) は、トランスミッタの周波数に適用される式を用いて推定することができます。			
注1: 80MHz と 1000MHz では、より高い周波数帯域の分離距離が適用される。 注2: これらのガイドラインは、すべての状況に適用されるわけではない。 電磁波の伝搬は、構造物、物体、人からの吸収や反射の影響を受ける。			

<相互作用>

[併用注意] (併用に注意すること)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
高周波手術装置	これらの機器と併用する場合は、併用する機器の取扱説明書および電子添文等で放電対策の有無を確認すること。本手術台と放電対策のされていない機器との併用は、患者が重度の熱傷や傷害を負う危険性があるため、推奨しない。	患者が手術台の金属部品に接触したり、導電性または湿ったパッドの上にポジショニングされたりした場合、これらの器機との接触により、放電エネルギーが起こる危険性がある。
心臓細動除去器		

【保管方法及び有効期間等】

- 保管方法
直射日光、ほこり等を避け、常温・常湿にて保管する。
- 設置環境
周囲温度範囲：10℃ - 40℃
相対湿度範囲：10% - 70%
気圧範囲：700hpa - 1060hpa
- 耐用年数
内蔵バッテリーの耐用年数：目安として2年*。[自己認証(製造業者データ)による]*使用環境により短くなる場合がある。

*【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守・点検>

- 機能テスト
使用前に以下の点検を行い、手術台の機能的な安全と適切な状態を確認すること。
- ①手術台の電源を入れる。
- ②手術台がフロアロックされていることを確認する。又、すべての付属品が適切に装着されていることを確認する。
- ③コントロールユニットを使用して動作確認を行う。

④バッテリーの状態を確認する。残量が少なくなると、ハンドコントロールに「RECHARGE BATTERY」のメッセージが表示される。その場合、主電源に接続して充電する必要がある。

⑤HFアースコードが手術台に接続されており、手術室内の目的の場所にあることを確認する。

⑥手術台を一番高い位置まで上げ、可動部分が止まるまで確認する。又、各可動部の動きを併せて確認する。

2. 使用前・使用後の点検
以下の事項を点検すること。

①全てのパッドを点検し、破損が無いこと。

②背板、腰板他、接続するアクセサリ(本届出外)を点検し、破損が無いこと。

③各可動部、床を点検し、油漏れが無いこと。

④本体に接続する市販のAC電源コードが破損していないこと。

⑤HFアースコードが破損していないこと。

⑥ハンドコントロール及びカールコードが破損していないこと。また、ハンドコントロールの全てのスイッチが正常に機能すること。

⑦フットコントロール及びカールコードが破損していないこと。また、フットコントロールの全てのスイッチが正常に機能すること。

⑧左右のサイドレールを持って上下、左右に揺すった際、ガタつきが無いこと。

⑨手術台は使用前と使用後に洗浄・消毒すること。

3. 故障時のお願い
異常のあるもの及びその疑いのあるものは使用を中止し、本文書に記載の各営業所へ連絡するか、新しい物と取り替えること。

4. 洗浄・消毒方法

①本品を使用する前に必ず洗浄・消毒すること。又、汚れは出来るだけ速やかに除去すること。

②洗浄前に必ず主電源を電源装置から外すこと。

③洗浄および消毒の際は、以下の保護具を着用すること。
保護手袋/保護ゴーグル/マスク

④機械洗浄、高圧洗浄、スクラブ剤(クレンザー等の磨き粉)、オートクレーブ滅菌、洗浄用溶剤または皮膚消毒剤による清拭には対応していない。

⑤不適切な消毒剤や洗浄剤を使用すると、パッドの破損により患者被害を引き起こしたり、パッドが通電したりする恐れがあるため、絶対に使用しないこと。

⑥アルコールやアルコール含有化合物を主成分とする手指消毒剤、塩化物やその他の塩素を分解する成分を含む消毒剤は使用不可。[パッドを破壊し、手術台の表面に物質的な損傷をもたらすため]

⑦洗浄用溶剤及び消毒剤の製造元が提供する用途、混合比に関する情報に留意すること。

⑧次の手順で手術台のパッドを洗浄する。

- a. 手術台からパッド、アクセサリ及び必要に応じて頭板/脚板を取り外す。
- b. 柔らかいブラシとぬるま湯の石鹸水、又は洗浄活性成分として界面活性剤とリン酸塩を含む弱アルカリ性の医療用洗剤でパッドを洗浄する。尚、洗浄の際には極少量の洗浄液を使用し、余分な液体は乾いた布で直ちに拭き除くこと。
- c. 清浄な水で洗浄溶剤を取り除き、機器を乾燥させる。

- d. 市販の洗浄溶剤では落ちない汚れの場合、純度の高い石油系溶剤により次の手順で部分洗浄することが可能である。但し、石油系溶剤の使用は、火事や有毒蒸気の吸入による傷害のリスクをもたらすため十分に注意すること。
1. 高純度の石油系溶剤で部分汚れを部分的に洗浄する。
 2. 洗浄した部位を清浄な水で洗い、乾燥させる。

⑨消毒剤は次の有効成分を組み合わせた表面消毒剤に限り使用が可能。[手術台の表面に物質的な損傷をもたらさないため]

- ・アルデヒド
- ・第四級化合物 又は グアニジン誘導体

⑩次の条件で手術台の消毒を行うこと。

- a. 消毒剤製造元が提供する情報に従い、消毒剤を使用すること。
- b. 消毒剤使用後は、残渣を清浄な水で洗い流し、乾燥させる。

⑪消毒作業の際には、国内規制を遵守すること。

<業者による保守・点検>

定期点検を希望の場合は、本文書に記載の各営業所へ連絡願います。

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

<製造販売業者>

欧和通商株式会社：TEL 03 (5803) 7172

<製造業者>

日本語名：シーラー・メディカル社（スイス）

英 名：S c h a e r e r M e d i c a l A G (Switzerland)

<問い合わせ先>

欧和通商株式会社 札幌営業所：TEL 011 (708) 7725

東京営業所：TEL 03 (3813) 8201

大阪営業所：TEL 06 (6304) 9305

福岡営業所：TEL 092 (526) 3618